



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月8日

上場会社名 光ビジネスフォーム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3948 URL <http://www.hikaribf.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 康宏
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 大宮 健 (TEL) 03(3348)1435
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の業績 (2019年1月1日~2019年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	5,728	10.9	323	79.5	325	69.8	218	40.9
2018年12月期第3四半期	5,164	△3.1	179	△1.8	191	△1.4	154	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	37.76	—
2018年12月期第3四半期	26.80	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	9,982	6,946	69.6
2018年12月期	9,237	6,803	73.7

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 6,946百万円 2018年12月期 6,803百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	—	—	18.00	18.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の業績予想 (2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	3.2	240	42.7	240	31.9	150	11.0	25.94

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	5,815,294株	2018年12月期	5,815,294株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	33,266株	2018年12月期	33,266株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	5,782,028株	2018年12月期3Q	5,782,056株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等)	5
3. その他	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、堅調な設備投資や雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな回復基調で推移しましたが、米中の貿易摩擦による中国経済の減速や、国内の人手不足問題などもあり、先行き不透明な状況にあります。

フォーム印刷業界におきましては、ビジネス・スタイルのペーパーレスに一段と拍車がかかり、ビジネスフォームの減少スピードも更に速まってきました。また、価格競争や人件費の上昇などもあり、厳しい経営環境が続いております。

この様な情勢の中、人手不足や業態改革に伴うアウトソーシングの動きを、ビジネスチャンスと捉えて活動し、紙による通知物と紙に代わるものとの一括受注を図ってまいりました。この結果、売上高5,728百万円(前年同四半期比10.9%増)、営業利益323百万円(前年同四半期比79.5%増)、経常利益325百万円(前年同四半期比69.8%増)、四半期純利益218百万円(前年同四半期比40.9%増)となりました。

なお、売上状況につきましては、ビジネスフォーム2,283百万円(前年同四半期比14.0%増)、一般帳票類1,113百万円(前年同四半期比0.2%増)、データプリント及び関連加工2,079百万円(前年同四半期比14.7%増)、サブライ商品251百万円(前年同四半期比6.1%増)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて744百万円増加し、9,982百万円となりました。資産の部においては、流動資産が756百万円増加し3,248百万円、固定資産が11百万円減少し6,733百万円となりました。また、負債の部においては、流動負債が603百万円増加し2,052百万円、固定負債が1百万円減少し984百万円となりました。この結果、純資産の部においては、142百万円増加し6,946百万円となり、自己資本比率が69.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

(通期業績予想)

2019年2月8日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,234,135	1,633,245
受取手形及び売掛金	874,895	1,211,494
製品	153,402	172,885
仕掛品	15,926	17,746
原材料	36,581	44,435
その他	177,285	168,750
流動資産合計	2,492,226	3,248,558
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,255,368	1,218,843
機械及び装置(純額)	106,528	103,577
土地	2,507,281	2,507,281
その他(純額)	801,904	787,719
有形固定資産合計	4,671,082	4,617,423
無形固定資産	48,473	56,570
投資その他の資産		
投資有価証券	1,234,671	1,257,392
その他	793,054	804,154
貸倒引当金	△1,821	△1,821
投資その他の資産合計	2,025,904	2,059,725
固定資産合計	6,745,460	6,733,719
資産合計	9,237,687	9,982,277
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	786,885	1,115,082
短期借入金	—	150,000
未払法人税等	112,996	127,651
引当金	43,085	163,168
その他	505,404	496,152
流動負債合計	1,448,372	2,052,054
固定負債		
役員退職慰労引当金	200,282	219,650
資産除去債務	26,691	27,105
その他	759,094	737,366
固定負債合計	986,067	984,122
負債合計	2,434,440	3,036,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,288	798,288
資本剰余金	600,052	600,052
利益剰余金	5,232,150	5,346,427
自己株式	△20,862	△20,862
株主資本合計	6,609,629	6,723,905
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	193,617	222,194
評価・換算差額等合計	193,617	222,194
純資産合計	6,803,247	6,946,100
負債純資産合計	9,237,687	9,982,277

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	5,164,585	5,728,963
売上原価	4,097,635	4,431,303
売上総利益	1,066,950	1,297,660
販売費及び一般管理費	887,013	974,618
営業利益	179,936	323,041
営業外収益		
受取利息	1,061	5
受取配当金	12,488	11,530
受取保険金	3,284	5,877
受取賃貸料	3,315	3,031
雑収入	8,449	3,750
営業外収益合計	28,598	24,195
営業外費用		
支払利息	12,931	15,260
保険解約損	—	331
固定資産除却損	491	2,386
雑損失	3,174	3,441
営業外費用合計	16,597	21,420
経常利益	191,938	325,817
特別利益		
固定資産売却益	—	195
投資有価証券売却益	56,171	27,505
特別利益合計	56,171	27,700
特別損失		
固定資産除却損	—	86
固定資産売却損	338	—
投資有価証券売却損	—	3
投資有価証券評価損	—	12,000
特別損失合計	338	12,090
税引前四半期純利益	247,770	341,427
法人税、住民税及び事業税	119,864	162,673
法人税等調整額	△27,036	△39,598
法人税等合計	92,828	123,074
四半期純利益	154,942	218,352

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、印刷関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

(公正取引委員会による立ち入り検査について)

当社は、2019年10月8日に日本年金機構が発注する帳票の作成及び発送準備業務に関して、独占禁止法違反の疑いがあるとして、公正取引委員会の立ち入り検査を受けました。当社といたしましては、公正取引委員会による検査に全面的に協力してまいります。